

平成22年9月8日(水)

第3回「雷別ドングリ倶楽部」活動

9月8日(水)、会員12名が参加して第3回「雷別ドングリ倶楽部」の活動をパイロットフォレストで行いました。今回は趣向を変え、「カラマツ間伐材の伐採・搬出・集積現場の見学」、「遊歩道の散策」を行いました。

午前中は根釧西部森林管理署企画官の案内で、カラマツ間伐材の伐採・搬出・集積現場を見学しました。雷別ドングリ倶楽部では、種子から育てた苗を植える取組などを中心に自然再生事業に関わる活動を行っていることから、木材伐採現場を見るのが初めての方が多く、大型機械での木材の運搬、集積作業に驚いていました。

午後からの遊歩道の散策では、最初に野生動物自動撮影カメラの設置箇所を見学し、どのような野生動物が生息しているのか、自動撮影カメラがどのように野生動物を撮影するのかなどについて担当者から説明を受けました。また、散策の途中で見つけた山伏茸（ヤマブシタケ）をキノコに詳しい参加者に臨時で解説をしてもらうなど、全長約1,000メートルの遊歩道をゆっくりと散策しました。

今回の森林管理署・ふれあいセンターの業務の見学が、今後の雷別ドングリ倶楽部の活動の励みに少しでもなればと思います。（自然再生指導官 朝倉）



フォワーダによる運搬 - グラップルによる集積



根釧西部森林管理署企画官から説明を聞く



木材の伐採・枝払い・玉切り用のアタッチメント



ヤマブシタケの解説に聞き入る